

「飲酒に関する注意啓発について」への感想

- お酒に酔えば正常な判断が出来なくなり、ハラスメントを起こしやすい状態になるという自覚をもって、節度ある言動を心がけたい。
- 飲酒運転等問わず、一人の人間として「当たり前前のごことを当たり前前」を再認識し、教育に携わる者として、子どものお手本となるような姿勢を見せるべき。
- 「飲酒運転をしない、させない、許さない」という道民宣言遵守の意識を持ち、自分がしないのは当然として、周囲も飲酒運転をしないよう互いに注意しあう社会環境づくりに努めていきたい。
- 「明日車を運転するなら飲まない、飲むなら運転しない」という意識を持って生活していきたい。また、加齢・体調によって代謝能力も変わるので、自分を過信せず、節度を持って過ごしていきたい。